

私立入試まで50日たらず・・・

受験生における心構え九カ条～信じる者は救われる～

1 一冊の問題集を徹底的に

今まで使っていた問題集をくり返しやりましょう。「これだけやった」という自信につながります。問題集は、どの教科もうすい物がいいです。最初から順番にやるのではなく、一ページおきや、奇数番号だけやったりして、何回かに分けて一冊を仕上げるようにしましょう。二回目は解けなかったところを重点的にやりましょう。

2 不得意科目は基礎・基本問題をたくさんやろう！

不得意科目は、難しい問題をやってもできないと、かえって自信がなくなります。基礎的な問題を多くやる方がいいと思います。1, 2年の復習を主に扱った薄い問題集をマスターしましょう。

3 志望校の試験問題をやってみる

志望校の試験問題の特徴や傾向に慣れることです。過去、三年間分の入試問題をやっておけばいいと思います。その場合、時間配分を考えながら何回もやるのが大切です。藤蔭高校の入試問題はホームページにあります。昭和学園や久留米学園、祐誠高校等の過去問は担任の先生に尋ねてください。久留米高専を含め市販されている高校もありますので、購入をするのもいいと思います。

4 今からでも(暗記)は遅くない

英単語や漢字など、暗記しなければならないものは、今からでも遅くありません。この時期は、いつもより真剣に覚えようとするものです。今まで眠っていた能力が出てくる場合があります。「火事場のばか力」を発揮しましょう。

5 わかるまで人に聴く

わからないところが出てきたら、恥ずかしがらずに、先生や友達に相談しましょう。「未解決は残さない」ことです。この姿勢が大事だと思います。一人で悩まない。いろいろな悩みも、友達同士、共有し合いましょ。放課後、職員室前で一緒に勉強をしている姿を見ます。お互いに聞いたり、問題を教え合ったり、先生をつかまえて尋ねたりしています。とてもいい光景です。もっと増えるといいと思います。

6 受験する高校はすべて第一志望

入学するまでの学力ではなく、入学してから十分やっていける学力を、今つけておくことが大切です。第一志望、第二志望とランク付けをしてはいけません。「受ける高校、すべてが第一志望」を合言葉に「この高校ではこう頑張る」という気持ちをしっかりと持つことです。

7 受験生の特別扱いを受けるな

「ぼくは厳しい受験に臨んでいる。家の手伝いはできない」など、まさか自分が悲劇に主人公のように、家族に特別扱いを要求している人はいないでしょうか。受験はだれもが通る一つの試練です。その試練に真正面からぶつかっていくチャレンジ精神が必要です。「手伝いはいいから」などの特別扱いは、かえって裏目に出ます。今まで通りの生活が大切です。

8 生活リズムを確立しておこう

夜は早めに寝て、朝は早めに起きる、その生活リズムを整えましょう。夜型の人は必ず朝方にもどしましょう。生活リズムを確立しておけば、試験当日の体調も良いはず。冬休みは、きちんとけじめをつけて生活をしてください。

9 とにかくマイペース

冬休みはもちろん、受験までの自分の計画を立てましょう。そして自分の計画にしたがって、自己点検しながら進んでください。着実にやるのが一番です。

福岡県高校入試問題(抜粋)を配布します。

福岡県教育庁北筑後教育事務所が作成した問題です。昨年の県立高校入試問題から活用問題(思考力・判断力・表現力)を抜粋したものです。最近の出題傾向を考えた内容になっています。解答・解説になっている「未来への架け橋」も配布します。解説をよく読んで効果的に活用をしてください。何回も繰り返しやりましょう。必ずいい結果につながるはず。必ずいい結果につながるはずです。